

ため池対策で下流の農地を守る (長崎県佐世保市)

事業者：長崎県

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例



対策名： No.29 ため池に関する緊急対策

事業名： 農村地域防災減災事業

- ポイント**
- 3か年緊急対策によりため池対策を前倒し実施
 - 豪雨による決壊を防止し、下流の農地・家屋の安全を確保

地域の概要・課題

長崎県は台風常襲地帯であるとともに、近年、局所的かつ短期間での豪雨が多発しています。

また、老朽化が進んでおり、改修や整備が必要なため池が数多くあります。

ため池の整備を促進することで、決壊による被害を防止し、安定的に農業用水を確保する必要があります。

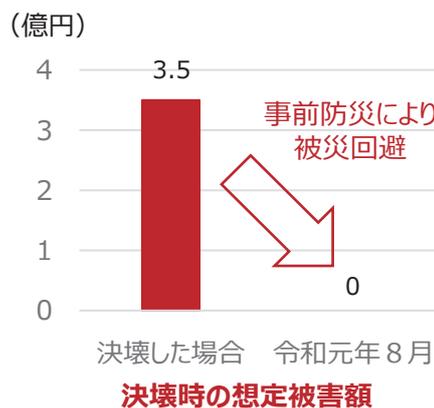
事業の概要

近年頻発化している豪雨による被害を防止し、農業用水を安定的に確保するため、ため池の堤体や洪水吐きの改修を実施しました。決壊した場合の浸水区域に家屋等が存在し、人的被害も与えるおそれがあったため、3か年緊急対策として前倒し実施しました。

効果

令和元年8月の前線に伴う大雨では、長崎県佐世保市において24時間降水量で306mmを観測しました。

ため池対策により決壊による被害を未然に防止し、下流農地・家屋への浸水を回避しました。



I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化

I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

I-3 避難行動に必要な情報等の確保